

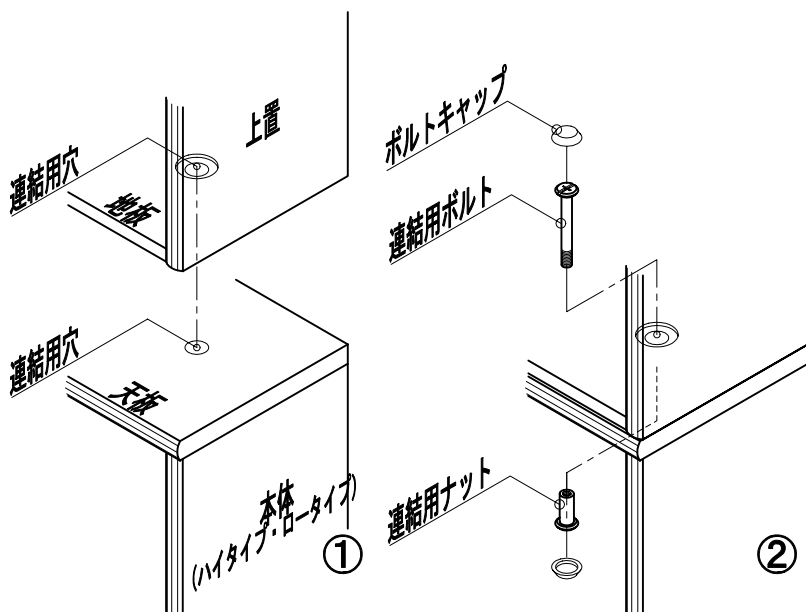
本体への連結方法

設置する天板と上置地板の連結穴をしっかりと合わせ、連結用のボルト・ナットをプラス(+)ドライバーを用いてしっかりと締め付けて下さい。

上置の転落防止の為、設置の際には付属のボルト・ナットで固定して下さい。

上置を固定したら、付属のキャップをボルト頭に取り付けてください。

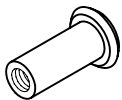
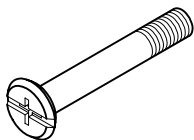
キャップが取り付けにくい時には、ボルト(ナット)の頭に円を描くように取り付けると、しっかりはまります。



ウワオキ
連結用
ボルト:2個

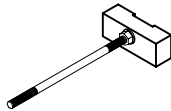



ナット:2個

ボルトキャップ:4個



●付属部品一覧表

材質G巾 120_80

 耐震補助具×2	 蝶ナット×2	 穴ふさぎキャップ×2
	 ワッシャー×2	棚板×2 金ダボ×8

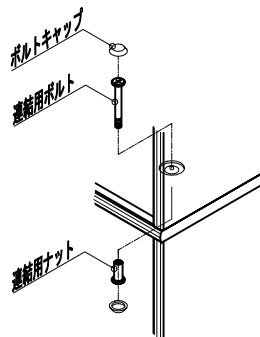
「耐震補助具」取扱説明書

ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」を良く読んで据え付けを行ってください。

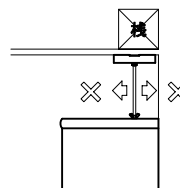
なお、この「取扱説明書」は、家具の移動などに備えて大切に保管しておいてください。

取装上の注意

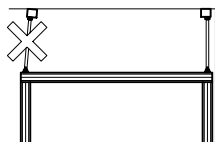
- ・上置は必ず本体と連結させて使用してください。
(付属の連結用ボルトとナットを使用してください。)



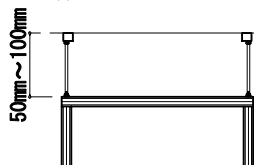
- ・天井の強度をあらかじめ確認し、なるべく天井の棧の通っている場所に据え付けてください。
(耐震具の位置は移動できません。あらかじめご了承ください。)



- ・セットする際は、垂直にセットして下さい。



- ・耐震具の適用範囲は上置棚の天板から**50mm ~ 100mm**までとなっております。100mmを越えると不安定となり、十分な効果が得られなくなります。



- ・設置後、数日したら天井への圧着状態を点検して頂き、圧着が弱い場合には調整ネジを増し締めしてください。
(床が畳の場合、定期的に調整ネジの増し締めを行ってください。)
- ・耐震具はどんな状態でも完全に家具の転倒を防止する物ではなく、転倒しにくくするものです。天井・家具・床の強度・状態によって、十分な効果が得られない事があります。

耐震具のセット方法

あらかじめ必要とする耐震具の長さを事前に計り、蝶ナットを耐震具にセットします。
この時、蝶ナットは必要とする長さより3cm程度短くなるようにセットしてください。
(上置を本体にセットする際に、セットできなくなる可能性があります。)

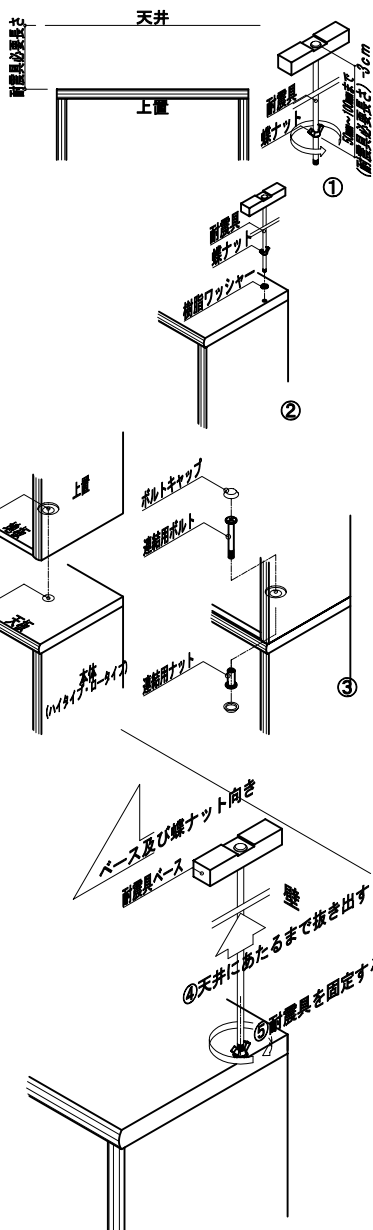
上置の天板に開いている専用の穴に、ワッシャーを通した耐震具のボルトをセットします。

本体に上置きをセットします。
設置する天板と上置地板の連結穴をしっかりと合わせ連結用のボルト・ナットをプラス(+)
ドライバーを用いてしっかりと締め付けてください。
締め付けが終了したら、付属のボルトキャップをボルトとナットの頭にはめ込んでください。

耐震具を抜き出し、天井と上置棚との高さを決めて下さい。
この時、耐震具のベースの向きを注意してください。
(壁と垂直に交わる様にセットして下さい。)

高さを決めたら、あらかじめセットしておいた蝶ナットを回し、天井と家具との間を固定させてください。
この時、締め過ぎて天井を破損しない様、十分注意をして行ってください。また、蝶ナットの向きも壁に対して垂直になるようにセットしておいてください。

以上で完了です。




耐震具使用時のご注意

設置後、収納した物の重量等で沈み込む可能性があります。

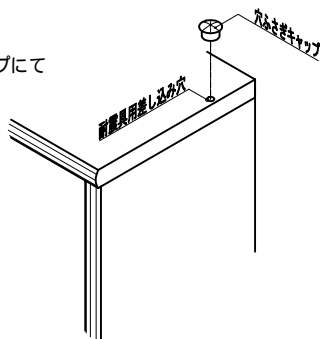
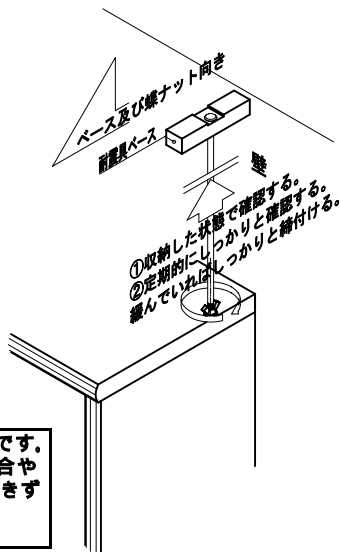
収納した後も、耐震具のつばりの状態を確認し蝶ナットを回して固定して下さい。

定期的に(3~6ヶ月に一度)つばりの状態を確認し、緩んでいる場合には再度締付けを行ってください。

家具を動かした場合や地震等が起きた際には、本体・耐震具の金具の破損が無いかを確認し、再度締付けを行ってください。

 つばり状態の確認・調整は非常に重要な作業です。天井へのつばりが正常に調整されていない場合や緩んできた場合、耐震具の十分な効果が発揮できず家具が不安定な状態となり危険です。必ず上記の確認・調整をしてからご使用ください。

耐震具をご使用にならない時には、付属の穴ふさぎキャップにて耐震具の差し込み穴をふさいでください。



～ ご注意 ～

連結ボルトやナットが製品本体
に食い込んでしまうと、付属のボルト
キャップがうまくはまらなくなる事
があります。

ご注意ください。